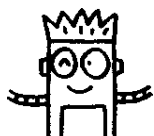


ペリーは、どんな人だったの



アメリカ海軍の近代化や、日本の開国に努力した
海軍軍人だよ。

マシュー・カルブレイス・ペリーは、1794年、アメリカのマサチューセッツ州ニューポートで、海軍一家の三男として生まれました。1809年に海軍に入り、アフリカ・西インド諸島・地中海などに行きました。ニューヨークで海軍の造船所の所長をしていたときには、アメリカ海軍で最初の蒸気軍艦をつくりました。また、海軍士官の教育、海軍の近代化、灯台の施設の改善などにも、力をつくしました。

日本の開国に成功した

1852年、東インド艦隊司令官になると、日本を開国させることを命じられました。彼は、軍艦4せきで琉球・小笠原諸島に立ち寄った後、1853年7月(嘉永6年6月)に浦賀沖にやって来ました。大統領の手紙をわたして、いったん引き上げ、翌年2月(嘉永7年1月)に軍艦7せきでやって来て、3月に日米和親条約を結ぶことに成功しました。同年7月に琉球王国と米琉修好条約を結び、1855年1月に帰国して、1858年2月にニューヨークで亡くなりました。

日本が経済大国・競争相手になるだろう、と予言した

ペリーは、日本・琉球や太平洋の島々は、将来、アメリカの貿易の重要なルートになる、と考え、琉球のおもな港を占領するよう、主張していました。しかし、航海中に本国で行われた大統領選挙で、大統領が代わり、外交政策が変わったため、琉球の占領は海軍長官から反対されました。彼はまた、日本人の性質を観察し、日本は将来、経済大国になり、貿易でアメリカと競争するようになるだろう、と予言していました。



100年以上前に、今の日本と日米関係を、予言していたのね。